

登録から現在までを振り返って

会員 坂巻 吉輝

1 はじめに

現在、登録から約1年半が経過し、登録当初と比べれば、それなりに弁護士らしくなってきたと実感している。もっとも、本寄稿では、業務のことはさておいて、この約1年半の間に起きた、個人的に楽しかった出来事をつらつらと書いていきたいと思う。

2 自衛隊駐屯地訪問

今年の2月初旬、陸上自衛隊習志野駐屯地を訪問した。

習志野駐屯地には、陸上自衛隊の中で唯一の空挺部隊である、第一空挺団という落下傘部隊が駐屯しており、災害派遣等における人命救助・物資輸送等に備えて、日夜訓練に励んでいる。訓練内容としては、日常的に行う基礎訓練の他に、高度数千メートルからの自由落下訓練、重装備状態で山中で行われるレンジャー訓練等が行われるようで、高い体力と強い精神力が必要とされている。

私も、訓練の一内容である、飛び出し塔訓練という高さ約11メートルのジャンプ台から飛び降りる訓練を体験させてもらった。11メートルという高さは、人間が死を意識し始める高さであるらしく、塔の頂上から下を見下ろしたとき、何故、この訓練に参加してしまったのかと後悔したが、その後、無事、塔から飛び出すこともでき、人間として、ひとつ成長できた気がする。

3 シンガポール旅行

先日、2泊3日でシンガポール旅行に行ってきた。自身として、約10年ぶりの海外旅行であり、日本とは言語も文化も気候も異なる土地に非常に胸が高鳴った。

シンガポールは、淡路島と殆ど同じ面積の国土しか

ない小さな国であるが、この小さな国土の中に多様な民族が居住しているようで、中国文化、インド文化など、様々な文化が混ざり合った、独特な雰囲気を持っており、他面、オーチャード通り、マリーナベイサンズと言った、先進国特有の豪華な町並みや施設も併存している。また、レジャー施設も充実しており、セントーサ島で体験できる、山の上からワイヤー1本でビーチに向けて、数百メートルの距離を滑空するメガジップというアトラクションは、とても爽快であった。加えて、シンガポールは、料理も絶品であり、更に、非日常の興奮を味わうことのできるカジノもあり、2泊3日と短期間ではあったが、最高のバカンスを味わうことができた。

4 むすび

このように、私が、登録から約1年半の間に、これらの体験ができた理由は、昨年度、会派の執行部の末席に加えてもらえたことにある。

会派に参加していない方々の中には、なぜ会派活動なんかやるの?と疑問に思う方もいるかもしれない。しかし、実際に活動してみると、上記のように楽しい体験をする機会もあり、また、業務に役立つ知識も沢山吸収することができ、とても有意義なものであることを、身をもって体験することができる。加えて、沢山の弁護士とも知り合いになることができ、私のような小規模事務所で勤務する者にとっては、同業者の縦の繋がりが、横の繋がりを広げることのできる絶好の機会でもあった。

いままで会派に無関心だった方も、この寄稿を読んで少しでも興味を抱いてくれたのであれば、騙されたと思って会派に参加し、新しい世界を開拓して欲しいと思う。